

事例紹介

地域人材育成事業

【IT分野】

IT技術コースは、プログラム言語を基礎から学び、アプリケーション開発やデータベース開発の第一歩を踏み出して頂き、地元IT企業の新しい戦力となる。事務コースは、オフィスソフトを始めとする、企業の効率化に必要な知識と技術の学習を通じ技能を修得し、高度な事務処理技術者として活躍して頂く。このような目標をもって活動し、旭川の情報技術発展の一翼を担って頂きたいと考えています。



旭川情報産業事業協同組合

理事長 晒谷 初

事業概要

失業者を研修生として雇用し、IT技術者等としての必要な能力・技能を習得させ、企業が求める人材の育成を図るための研修を実施

委託先

旭川情報産業事業協同組合
(所在地:北海道旭川市)

新たな
雇用創出数

14人

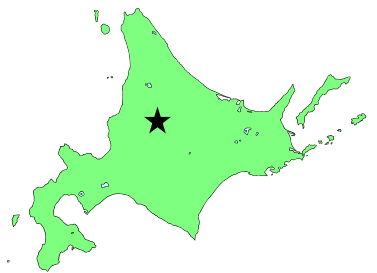
事業費

約6,151万円 (平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

旭川市



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

北海道	0.35倍 (常用)
HW旭川管内	0.39倍 (常用)

業務内容

集合研修(IT技術コース)～ソフトウェアの設計開発に必要な知識について、座学により研修を実施

集合研修(事務コース)～文書・DBアプリの活用や、エンドユーザコンピューティングの推進等企業の業務効率化に必要な知識について座学により研修を実施

実地研修(両コースとも)～IT関連企業における実習を通じて指導を受ける。



《研修の様子》

研修生のみなさん

今は、事務員に必須といわれるパソコン・簿記のスキルの他に、ビジネス・コミュニケーションの訓練をしています。チームで行う課題も多く、話し合いや意見交換など、色々な考え方を吸収し更に上のコミュニケーション力を身に付けたいと考えています。

これからの実習を通して、ソフトウェアの運用や管理作業全般をこなせる人材として成長したいと思っています。

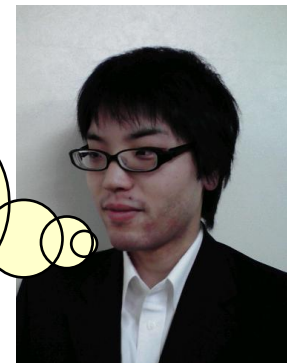


《事務コースのみなさん》



《IT技術コースの研修風景》

以前より興味のある業界でしたが、プログラミング言語など、上手く自分に使いこなせるのかという不安がありました。しかし、この研修を通じて、この業界に抱いていた興味がさらに強まると同時に、一流のSE・PGになるという気持ちが生まれました。



研修受講者 萩野 祥平さん

事業実施の背景

- ・旭川市のIT業界において、新分野への事業拡大を図るため、専門技術者の雇用・養成へのニーズが存在
- ・地域企業において、IT技能の向上によるスタッフ部門の事務効率化を通じ、経営効率化を図る必要性がある。

今後の姿と課題

IT産業における現状を踏まえ(売上高:北海道第4位)、引き続き産業規模を拡大するための人員増強や開発力の強化を図り、地域産業の活性化を目指すとともに、地域産業のIT化による、経営の効率化への継続した支援が課題

地域人材育成事業【産学官連携分野】 産学官連携コーディネート機能強化事業（宮城県）

事業概要

• 県内の大学や産業支援団体の産学官連携セクション等で地域の人材をアシスタントコーディネーターやコーディネートスタッフとして雇用し、指導職員によるOJTを通じて、地域企業の技術支援、取引拡大支援、産学官による共同研究、大学等の技術シーズの実用化等に関する知識・技術を習得させ、さらには各機関のコーディネート機能の強化を図り、地域の産学官連携の取組を一層促進します。

事業費

• 約4,128万円

委託先

- 学校法人東北工業大学
- 公立大学法人宮城大学
- 社団法人みやぎ工業会
- 財団法人みやぎ産業振興機構
- 学校法人東北学院

実施期間

• 平成22年5月1日～平成23年3月31日

雇用人数

- アシスタントコーディネーター 4人
- コーディネートスタッフ 9人
- 計 13人

宮城県



地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

宮城県 0.41倍(季節調整値)

■「アシスタントコーディネーター」とは、産学官連携業務に携わる教員又は職員(以下「指導職員」という。)を補佐し、産学官連携に関する実務に従事しながら、雇用期間終了後、県内の産学官連携の取組を推進するコーディネーターとして活動することを旨とする民間企業等勤務経験者をいう。

■「コーディネートスタッフ」とは、指導職員の指導・助言の下、産学官連携に関する補助業務等に従事しながら、産学官連携業務に必要な知識や技術を習得し、雇用期間終了後、産学官のパイプ役として、地域企業等での就業を目指す大学新卒者等をいう。

学校法人東北工業大学の取組

事業体系図

産学官連携コーディネート機能強化事業推進委員会

(主)指導職員

(副)産学連携担当職員

アシスタントコーディネーター 1名

コーディネートスタッフ 4名

指導職員による講義
技術系中小企業論
90分×15回

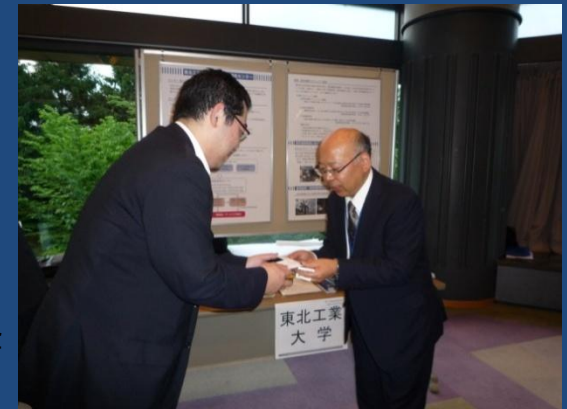
地域企業紹介事業
地域企業のニーズ・ものづくり動向
を調査し、パネル展示により紹介

マッチング事業
大学などの高等教育機関のニーズ
を紹介し、地域企業とのマッチング
や企業の問題解決を図る。

先進地視察
産学官連携機関・施設、
県外企業訪問等



指導職員の講義を受けるアシスタントコーディネーターとコーディネートスタッフの皆さん



産学官連携イベントで地域企業と交流を図るアシスタントコーディネーターの澤口さん

事例紹介

地域伝統工芸担い手人材育成事業【山形県】

地域人材育成事業 【ものづくり産業分野】

置賜地域に根ざした「織物産業」は、品質の高さについては折り紙つきですが、最近ではデザイン性の高いオリジナリティーでも注目されています。その業界に身を置いた研修者の方々には、地域伝統産業の担い手として新たな活路を切り開く存在になってほしいと大いに期待しています。



米沢織物工業組合
理事長 嵐田道雄 様

事業概要

地場産業生産組合が新規に雇用した者に対してカリキュラムに基づいた講習会や組合員である事業所等において現場実習などを実施することにより、地域伝統工芸(織物)に関する知識や優れた技能、技術等の伝承を行い、次代につなげる担い手を育成し、伝統的地場産業の復興をめざす。

委託先

- ・米沢織物工業組合
- ・長井紬織物工業協同組合
- ・置賜紬伝統織物協同組合

新たな 雇用創出数

10人

事業費

約3,408万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

今後の課題

生産体制や流通、販売形態など、織物産業界を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、これまで培われてきた伝統や技術を活かすつも、新たな息を吹き込みながら、どのようにして業界全体の底上げに役立てていくのかが課題となっている。

山形県 置賜地域



有効求人倍率(平成22年3月)

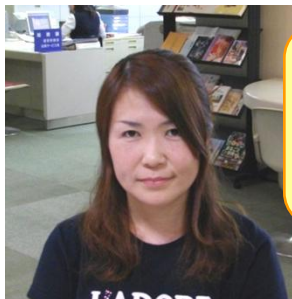
山形県 0.45倍(季節調整値)
置賜地域 0.39倍(原数値)

雇用されているみなさんの声



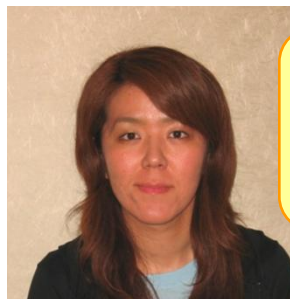
鈴木亜希さん

伝統を継承していく事も、時代に合わせて変えていくことも大切。ファンを大事にし、愛されるものを作りたい。



佐竹幸子さん

伝統産業を勉強させていただき紬の奥深さを知って感動しています。若い人たちにも関心を持っていただけるよう、広めていきたい。



川上佐知子さん

家族代々引き継がれるすばらしい紬を織ることができるよう、技術と知識を得ていきたいと思っています。

研修先からの声



(有)わくわく館
社長 齋藤英助 様

残すべきものと新しく作り出すものを若い人の感性を取り入れ、明るいイメージをもってやっていくことが大事。前向きで意欲的に取り組んでもらっており期待しています。伝統は作り出すこと。勇気を持ってチャレンジしてほしい。



渡源織物
代表 渡邊徹 様

近年は事業縮小、生産量激減などで伝統地場産業でありながら行政の熱心な指導にも応えられず苦闘しておりましたところ、この事業には多数の真剣な応募があり、大変心強く感じました。研修者も毎日頑張っております。やがて新しい感覚での商品開発につながることを期待しております。



小松織物工房
代表 小松紀夫 様

山形県無形文化財として、白鷹に残る緋の文化を引き継いで、はた織りの技術を後世に伝えてもらうことを期待しています。

研修風景



“染め”に取り組んでいます



“織り”を教わっています

織物の“歴史や文化”について学習しています



事例紹介

地域人材育成事業
【重点分野・追加4分野】

(介護・医療・観光・環境、エネルギー・
農林水産・地域社会雇用分野 等)

厳しい雇用情勢の中で、就職先が決まらないまま今年3月に高等学校、大学、短期大学及び専門学校などを卒業した若者が大勢います。

千葉県では、新卒未就職者等を対象に、企業で働きながら、社会人として必要な基礎的な知識や職場に必要なスキルを取得し、早期に就職を促進するため新卒未就職者等人材育成事業を実施します。

千葉県



事業概要

安定した就労を志向しているものの、厳しい雇用情勢の中で就職先が決まらないまま、平成22年3月に高等学校又は大学等を卒業した若者等(以下「新卒未就職者等」という。)を対象に、今後成長が見込まれる分野の企業等で働きながら、ビジネスマナーなどの職業人として必要となる基礎的な知識や、職場に必要な技術を習得する機会を提供し、就業を支援します。

委託先

(株)インテリジェンス
(株)パソナ
マンパワー・ジャパン(株)

新たな
雇用創出

210人

事業費

約75,000万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

幕張メッセで開催した事業説明会
多数の新卒未就職者が参加しました。

地域雇用失業情勢(内定率)
【22年3月末現在】

大学(大学院) 82.2%

短期大学 88.8%

高等学校 89.9%

専修学校 86.5%



事業の流れ

採用

各事業運営委託企業の選考を経て、有期契約社員として採用されます。

社会人基礎研修

ビジネスマナーなど社会人として必要な基礎的な研修を受講します。

この間給与が支給されます。

選択スキルアップ研修

選択した職種にあった専門的な研修を受けることができます。

企業での就労、OJTの実施

研修で学んだ知識を生かしながら、企業現場で働き、実用的なスキルの習得や職場で働くイメージをより具体的に持つことができます。

事業終了後、新たなステージへチャレンジ

事業終了後、身につけたスキルを活用して、継続雇用又は他の企業での正規雇用を目指します。

入社式の様子



オリエンテーションの様子



研修初日の様子



参加者の声

- Aさん 面接にいても合格がもらえず自信を喪失しているので、支援を受けて自分を変え、自信を付けて就職活動に臨みたい。
- Bさん この事業を通じて、仲間と切磋琢磨して、この人がほしいと言われる人材を目指します。
- Cさん 社会人として必要なスキルや知識を身につけ、どの企業でもやっていける社会人になりたい。

事業担当者からの声

- Aさん 研修、ノウハウ伝授、情報提供などできることを全力投球であたり、全員の就職を目指します。
- Bさん 就職に失敗した原因を突き止め、そこを直し、心と行動を変え、安定就労を支援します。
- Cさん 自分の可能性を信じ、強みを把握し、がんばって欲しいです。とことん付き合います。

今後の展望

現在は基礎研修・選択スキルアップ研修を実施しています。研修終了後、企業に派遣し、就労していくことになりましたが、開拓した企業と事業参加者をいかにマッチングさせるか、事業終了後の継続雇用に向けた支援をいかに実施していくかが重要となっていきます。

石川県地域人材育成プログラム 【石川県】

事例紹介

地域人材育成事業 【基幹産業 食品分野】

社員がいろいろな部署を経験することで、新たな能力を引き出し、そのことにより会社全体がレベルアップするよう、今後は、特定の部署や分野だけで能力を発揮するスペシャリストではなく、複数の分野の知識や技能を持つゼネラリストとなる人材を育成していきたいと考えています。このプログラムをきっかけに部署をまたいだ知識をもつ人材育成に取り組み、業務の活性化につながることを期待しています。



株式会社スギヨ
代表取締役社長
杉野 哲也さん

事業概要

揚げ物やちくわを主に製造する水産練り製品を製造する工場で行うライン作業を行う従業員を雇用し、様々な工程の製造業務を行う。

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)

石川県0.54倍
(季節調整値)

委託先

株式会社スギヨ
(本社:石川県七尾市)
従業員数 680人

新たな 雇用創出数

1人

事業費

約298万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

本事業の実施を通して、求職者へ就業に必要な知識・技能を習得する機会を提供するとともに、県内モノづくり産業の次代を担う人材の育成を図ることを目的としています。
(石川県産業政策課)

業務内容

かに風味かまぼこ、ちくわ、揚げかまぼこなどの水産練り製品の製造、販売

ネットショップでも、能登のこだわりの食材を使用した製品などを取り扱うブランド「ととー」を販売

農業事業に参入し、能登島の農地にて、自社製品にも使用する野菜を生産



スギヨ 北陸工場

プログラム利用者の声

全国の誰にでも知られるような商品を作りたい。



プログラム利用者
沼間 健一郎さん

いろいろな製品があり、様々な工程があります。力仕事があれば、細かい作業もあり、簡単ではありませんが、やりがいがあります。

将来的には、マネジメントもできるようにになりたいと思っているので、ものづくりの基礎を学び、今後、どのような部署で仕事をしていく上でも役立つ現場の知識を吸収していこうと思います。



能登島自社農場のキャベツ畑
～このキャベツが加賀揚の材料に～



生産ラインを流れる加賀揚

今後の課題

ものづくりの現場を知り、
前線で活躍できる人材育成を目指す。



製造本部北陸工場工場長
岡崎 雅和さん

製造部門でもものづくりのしくみやコスト構造に関する知識を身につけ、会社の前線で活躍できるような人材を育てたいと思います。

能登島の自社農場で取れた品質が保証された野菜を使用した「加賀揚」は安心安全でとてもおいしいです！



できあがったおいしい加賀揚

事例紹介

地域人材育成事業

【福井の元気をつくる地域産業分野】

若者就業チャレンジ事業

【福井県】

福井県



事業概要

就職が決まらないまま卒業した方などを対象に、企業等での6か月間のチャレンジ就業(研修・就業体験)を通じて、仕事に必要な知識や技能の習得を図り、正規就職につなげることを目的とする。

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

福井県 0.69倍(季節調整値)
福井管内 0.64倍(原数値)

事業費

約11,372万円(平成22年度)

事業の開始

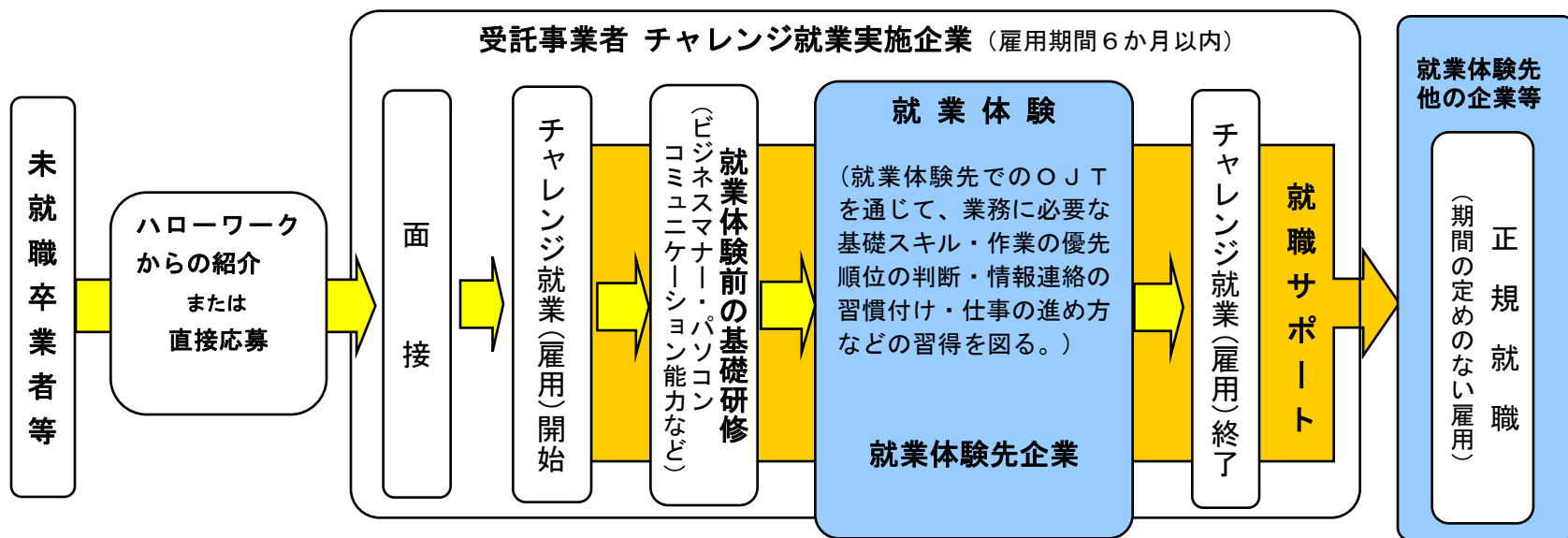
平成22年4月～

新たな雇用創出数

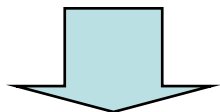
53人

委託先

アイビーエージェント(株)・(株)アイル・(株)旭スタッフ・(株)大津屋
(株)キャリアネットワーク・(株)キャリアプラス・(株)ヒューマンデザイン



基礎研修



就業体験



平野純薬(株)(福井市)で
就業体験中の船谷さん



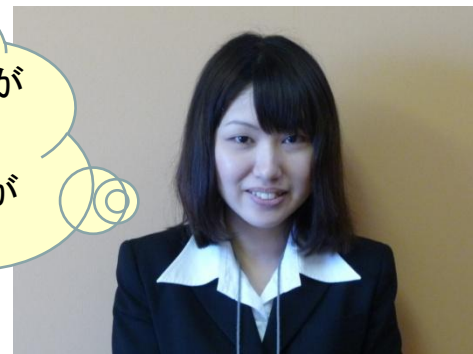
平野純薬(株)
安立さんの声

船谷さんは、元気が良く、真面目で、とても優秀な方だと感じています。
また、率先して仕事に取り組む姿勢は、私たち社員にも良い影響を与えてくれています。

アイビーエージェント(株)
キャリアカウンセラー
国嶋さんの声

研修生の皆さんに最初に接したときは、「視野が狭い」、「自分自身をあまり理解していない」という印象を受けました。しかし、研修によって意識改革が図られ、これまでとは違う姿を見せてくれています。

以前の私は、コミュニケーション能力が不足していたように思います。
研修を通してコミュニケーション能力が高まり、何事にも積極的に取り組めるようになりました。



研修生 常見さん

入荷した商品の検品や伝票の発行をしています。何も分からないところからのスタートで戸惑うことも多く、ビジネスの厳しさを感じる時もありますが、楽しく仕事をしています。

この会社で頑張っていきたいと思っています。

事例紹介

地域人材育成事業
【ものづくり分野】

事業の背景

国内市場の縮小、流通・販売ルートの変化、安価な海外製品の流入などにより、中小のモノづくり企業を取り巻く環境は厳しさを増しています。
しかし、販路開拓の現場においては、地場製品に関する知識を持ち、その魅力を消費者やバイヤーに伝えることのできる人材が不足しており、人材育成が求められています。

事業概要

地場製品の魅力を国内外へ積極的にアピールし、販路拡大に向けた販売力を強化するため、地場製品に関する確かな知識と販路開拓のための技能をあわせもつ人材をOJT、OFF-JTを実施することによって、育成する。

委託先

飛騨地域地場産業振興センター
萩原町商工会議所
美濃和紙ブランド協同組合
とき窯元共販協同組合
岐阜県産業経済振興センター

新たな
雇用創出数

12人

事業の開始

平成22年4月～

事業費

約5,988万円(平成22年度)

業務内容

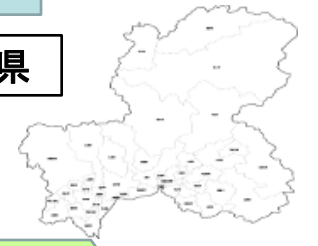
OJT

【商品知識】中小製造業での就業体験
【マーケティング】商品企画会議への参加
【接客・営業】実地販売や営業まわり体験 など

Off-JT

【ビジネス知識】講習会(取引実務等)
【地域理解】風土・歴史・文化 など

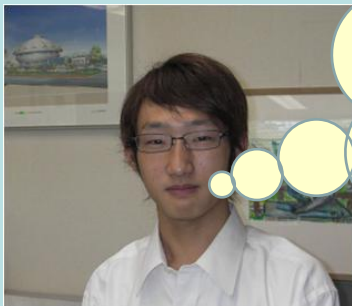
岐阜県



地域雇用失業情勢
(平成22年5月時点)

岐阜県 0.59倍(季節調整値)

新規雇用者の
みなさん



商品を作るために必要な
技術についてもっと勉強し
たい。

山内さん（とき窯元共販協同組合）



作り手のことや、製品の背
景にある歴史などを知って
もらい、楽しんで買ってもら
えるようにしたい。

永田さん（とき窯元共販協同組合）



伝統工芸品についての講義風景（一位一刀彫）
（飛騨地域地場産業振興センター）



イベントでの実習風景（飛騨の味まつり）
（飛騨地域地場産業振興センター）

今後の姿

事業終了後には、各就業先において、事業によって得た知識、経験を活かし、消費者と製造現場をつなぐ役割を担ってもらい、地場産業の振興につながることを希望しています。

事例紹介

地域人材育成事業 【人づくり分野】

図書館司書人材育成事業

【和歌山県有田川町】

新しいタイプの図書館として、オープンしたALEC（有田川町地域交流センター）です。今までの図書館とはひと味違う“憩い”の空間を演出し、みなさんの交流と文化活動を応援しています。



事業概要

町内の図書館等において、カウンター業務・図書整理業務・図書データベースの登録業務等の実務経験を積みながら、図書館司書（司書補）の資格取得を目標とし図書館業務に有用な人材を育成する。

委託先

株式会社図書館流通センター
（本社：東京都文京区）

新たな
雇用創出数

6人

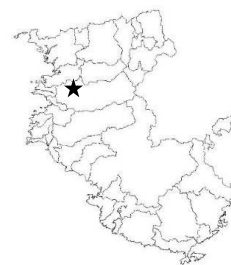
事業費

約2210万円（平成22年度）

事業の開始

平成22年4月～

和歌山県 有田川町



地域雇用失業情勢
（事業開始時点の有効求人倍率）

和歌山県 0.54倍（季節調整値）
湯浅管内 0.55倍（原数値）
【平成22年4月】

業務内容

町内図書館でのカウンター業務、図書整理業務、図書データベース登録業務

受講研修

将来図書館等で就業するために必要な知識・技術の習得
研修機関 近畿大学通信教育部
研修期間 平成22年5月～平成23年3月

研修目標

図書館司書（司書補）の取得



作業風景

指導員による厳しい指導のもと実務に取り組んでいます



研修生 竹中さん

実際に図書館で働いてみて、
図書館の仕事は、レファレンス
業務などとても奥が深いものだ
と感じました。司書資格を取得
し知識を身に付けたいです。



図書館スタッフとの朝のミーティング



来館の皆様気持ちよく利用
して頂くため図書の整理や展
示にも熱が入ります

指導員とマンツーマンで
移動図書館の研修



事例紹介

地域人材育成事業

【産業振興分野】

商工団体では企業経営や地域振興など分野で社会に役立つ
いろいろなノウハウをお持ちです。そのノウハウを活かして島根
を愛する“地域人財”の育成に取り組んでいます！

事業概要

商工団体(商工会、商工会議所及び島根県商工会連合会)の創意工夫に基づいた企業経営支援及び地域振興に関する業務を通じて、地域のニーズに応じた人材(地域振興巡回員)を確保及び育成する。

委託先

県内の商工会議所、商工会議所及び
島根県商工会連合会(14団体)

新たな 雇用創出数

17人

事業費

5,386万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

業務内容

商工会等が行う企業支援(特に起業、新分野進出及び農商工連携業務等)

地域活性化のために実施される地域イベント(地場産業祭り等地域産業振興と密接に関連する行事)、伝統文化保存等の活動支援

商品券の発行事務、まつり・イベントの企画・手伝い、企業訪問・相談補助、ホームページ作成・運営、経営指導員研修会等への参加、企業の記帳指導補助など

島根県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

島根県 0.65倍(季節調整値)
松江管内 0.56倍(原数値)



商店への巡回訪問活動

受託者 (商工団体) からの声

地域振興巡回員も土・日開催のイベントで大変でしょうが、関係者はもとより、地域の皆様にも大変喜んで(感謝)頂いています。
また、地域の歴史・伝統・文化への理解も深まり、地域の人とのコミュニケーションが図れ、それが本人の今後の財産になってくると思います。
人と人のつながりを大事にして、いろいろなことを体験し成長していただきたい。この事業を職業訓練としてとらえることもでき、よい事業だと思います。

地域振興巡回員 の皆さんからの声



商品券発行の相談



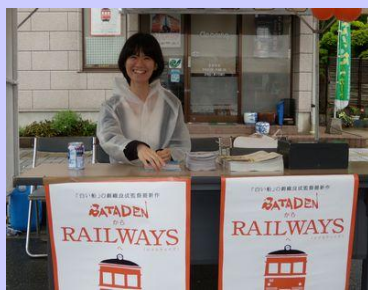
記帳事務補助の仕事

まだまだ業務に慣れませんが、日々、先輩職員より指導を仰ぎ、記帳実務等の勉強をしています。

また、一日も早く業務に慣れて、戦力になれるように頑張っています。これからは、地区イベントも開催されるので、管理運営に携わり、経験や知識を得たいと思っています。

地域に密着して仕事を行なうので、地元の魅力を再発見することができ、日々充実しています。前職は民間の広告会社に勤めていたので、パンフの作成やホームページ等経験を生かせる業務をさせていただき、嬉しく思っています。

また、商工会員さんや行政の方など多くの方と出会うことで学ぶことも多く、少しでも何か皆様の為に貢献できたらと思い、仕事をしています。



イベント活動支援

行政からの コメント (今後の姿と 課題)

地域振興にはマンパワーによる新たな風を吹き込むことがとても大切だと感じています。商工団体の業務を通じて経営的なノウハウを学習するとともに地域に密着した活動を通じて、成長していただきたいと思っています。そして、将来は地域を愛し、郷土に誇りを持って地元の企業やNPOなどで活躍する皆さんの姿を思い描き、島根の未来に繋がっていくことを期待しています。
(島根県商工労働部中小企業課団体商業グループ)



講習会への参加

企業を育て、地域を伸ばす為に活動する総合経済団体である商工会議所の業務に従事する事で、社会人としての見識が広がったと思います。

また、商工会議所の企業支援活動に携わる事で、市内外の様々な方との人的ネットワークが構築され、今後の活動においての重要な財産になると思います。

事例紹介

地域人材育成事業

【農林水産、環境・エネルギー分野】

障害者就職支援事業【岡山県】

【事業概要】

求職中の障害のある人に対して、企業での体験就業や職業人としての知識・技能を習得させる研修等を通じて正規雇用へつなげる。



委託先

株式会社グロップサンセリテ
(本社:岡山県岡山市北区)
従業員数 34人

新たな
雇用創出数

50人

障害のある人の雇用状況
(平成21年6月1日現在)

民間企業 (56人以上規模)
(1) 障害のある人の実雇用率
【岡山県】 1.79%
【全国】 1.63%
(2) 法定雇用率達成企業の割合
【岡山県】 54.3%
【全国】 45.5%

事業費

約20,381万円

事業の開始

平成22年3月～

研修内容

体験就業(OJT)

農業及びリサイクル事業に関わる、現場作業から事務処理までの実務を障害の程度に応じて行う。

知識・技能を習得する研修(OFF-JT)

ビジネスマナーや面接対応などの教養を身につけるとともに、パソコン操作等、職業人として必要となる知識と技能を習得する。



本事業の開始に当たり、バリアフリー対応の事業場を2か所新設し、障害のある人に対して、体験就業や研修を実施しています。体験就業期間終了後には正規雇用につながるよう取り組んでまいります。

株式会社グロップサンセリテ
代表取締役社長 倉田俊男



新設事業場(バリアフリー対応)

体験就業者 からの声

『体験を通じて自信を持ちたい』

社会人経験を持つ方も多く、とても刺激になります。1年後、自信を持って社会に出られるよう、知識・技能・経験を身に付けたいと思っています。



体験就業者 影山美香さん



事業所内でのリサイクル実習



体験就業者 伏屋均さん

出来てない事があると、即、その場で指摘をされる厳しい職場ですが、自分の課題を見つけ克服するにはとても良い環境だと思います。



農地での屋外農業実習

スタッフから の声

『彼らに教わることも多い』



指導管理者
難波俊之

速度には違いはありますが、全員が毎日必ず成長しています。ひたむきに仕事に取り組む姿勢など、彼らから教わることも多いですね。

社会で仕事を続ける上で、知識や技能以上に大切な目に見えない「意欲」や「心」をいかに育てることが出来るかが大きな課題です。



指導管理者
森本真由美



ビジネスマナーを始めとした様々な研修

広島県観光人材育成事業【広島県】

〔広島県一般公募事業（人材育成型）〕

事例紹介

地域人材育成事業 【人づくり分野】

当社は従来の発地型旅行営業を中心とした「総合旅行業」から、人々の交流で生まれるビジネスを事業領域とする「交流文化産業」への進化を目指しております。

今回の事業実施にあたっては、未就職の若者の就職支援だけでなく、地域の活性化につながるような事業となるよう関係機関や県内の観光事業者と連携しながら取り組んでおります。



株式会社JTB中国四国
広島支店 山本隆之さん

事業概要

将来の広島県の観光産業を担う人材を育成するため、県内の未就職卒業者を雇用し、県内各地の観光施設で就業体験を行うことで、接客業に必要なスキルを身に付けた人材を育成する。

広島県

県内全域で実施



委託先

(株)JTB中国四国

新たな 雇用創出数

10人

事業費

約4,489万円
(平成22年度)

事業の開始

平成22年4月～

地域雇用失業情勢
(事業開始時点の有効求人倍率)
広島県0.60倍(季節調整値)

研修内容

○導入研修

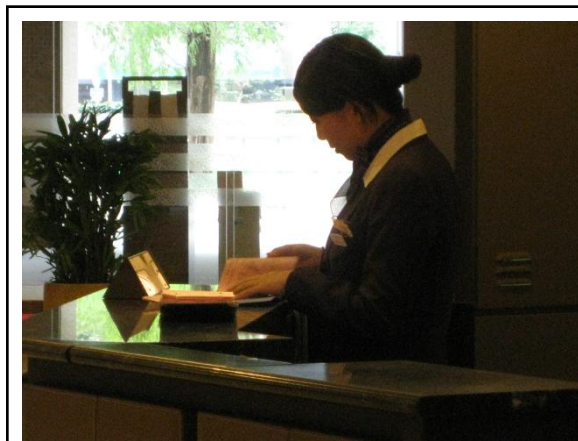
ビジネスマナー研修・おもてなし研修などによって、社会人としての自覚と、ホテルや旅館で必要とされる基本的なサービスを学ぶ。

○就業体験研修

県内各地のホテル、レストランなどの就業体験先でフロント業務や厨房業務、施設管理業務など、現場での実地研修を行う。

○フォローアップ研修

就業体験研修を踏まえて、常用雇用に向けて必要とされるスキルを学ぶ追加研修を行うとともに、自分の将来のキャリア形成について考える。



就業体験研修の様子

事業者
担当者の
声
(JTB中国四国
山本さん)

日々の業務の経験から、観光客の受け入れ体制の充実には、人材の育成が欠かせないと考えています。

しかしながら、長引く不況の影響で、多くの企業は人材育成に取り組む余裕がないのが現状です。今回、この基金事業を活用して、全国的にもあまり例がない観光事業者自身による人材育成に取り組み、我々の理想とする、日本のもてなしの心を持った人材を育成していきたいと考えています。



従業員同士のコミュニケーションと助け合いを大切にしている職場です。



研修生の上田さん

何か人と接するような仕事に就きたいと思い、この事業に応募しました。初めて現場に立った時は、何をしてもいいかわからず、部屋の位置すら分からない状態で途方に暮れてしまいました。でも、職場の皆さんが、厳しく優しく指導してくださったおかげで、業務にも少しずつ慣れて、何とか頑張っています。

とてもやりがいがある仕事なので是非続けていきたいです。



広島県商工労働局
雇用基金特別対策PT
鍛冶企画員

今後の課題

広島県では、厳しい雇用情勢が続いており、未内定のまま短大や大学を卒業した若者の就職先の確保が問題となっております。

一方で、観光産業を今後の地域経済を牽引する成長産業と位置づけ、その振興に力を入れております。今後も、広島県の観光産業を担う人材の確保に向けて、支援をしていきたいと考えております。

若者が選ぶ宮崎のゲンキ企業発信事業 【宮崎県】

事例紹介

地域人材育成事業 【産業振興分野】

受託者からの声

宮崎県内の産業は、その立地や交通の便の悪さなどからデメリットを上げられることが少なくなかったが、近年は流通経路の拡大やIT技術の発達、メディアへの露出等もあり、一部の産業については事業拡大の可能性を見出してきた。今後さらに発展し得る業界・企業の魅力を再発見し、消費者にとって有益で新しい発見となるような情報を発信したい。



(株)インタークロス 小川さん

事業概要

新規学卒者等が中心となり、接客マナー・営業基礎知識・IT技術などを幅広く習得し、その知識を活かして宮崎の元気な企業やイベントの情報を若者の視点から発信していく。

委託先

株式会社インタークロス

新たな雇用創出数

10名

事業費

約4,979万円(平成22年度)

事業の開始

平成22年5月～

宮崎県



地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

宮崎県 0.43倍(季節調整値)

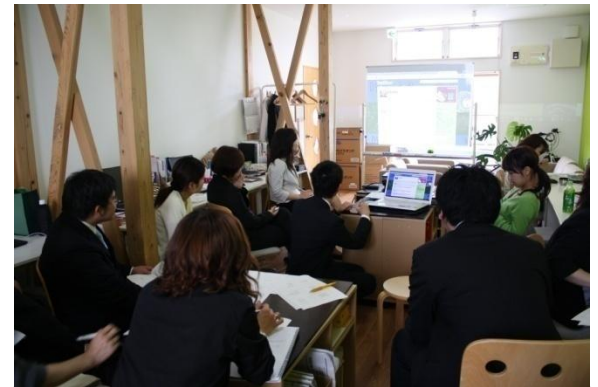
宮崎管内 0.43倍(原数値)

業務内容

ホームページの制作技術(プログラム・デザイン・コーディングなどの基礎)やそれに付随するPC基礎知識・撮影技術等をOJT・OFF-JTをとおして学ぶ。

知名度や事業規模に関わらず全国に商品やサービスを提供している企業を訪問し取材する。また、宮崎ならではのライフスタイル、イベントなどの情報収集をする。

収集した情報や取材記事をまとめ、作成したサイトへUP。また、ブログやメルマガなど多様なメディアからの情報発信を図り、ユーザ(消費者)の情報入手手段を把握する。



講師を招いてTwitter講座を実施

研修風景 1

ホームページの仕組みやHTMLなどを座学にて学習。またイラストレータやフォトショップなどのソフトを用いて、その機能やデザインについても学んでいます。



i-phone や i-pad を使った研修がすごくワクワクした。アプリ作ってみたい!

HTML ???
DreamWeaver ???
ん~難しい...



Web制作について学ぶ新規学卒者

研修風景 2

取材・撮影を実施する前に、社会人としての礼節や接遇基礎マナー、営業基礎研修などを受講。電話対応やロールプレイは日々の業務に..

初めての東京で受けた営業基礎研修はとても勉強になりました。



光の加減で写り方ってぜんぜん違うねえ..。商品をよく見せるにはどうしたらいいかなあ?



撮影した画像はその場でチェック

今後の姿と課題

どれだけ新しい角度から企業や商品の魅力を伝えられるか、またメディア等に露出していない事業や出来事をどのようにして察知するかが課題。また、情報の入手手段が多様化している中でどのようにして多くの人に認知してもらうかを考え、実践していくのかも大きな課題。一つでも多くの経験やノウハウを蓄え、社外にも広く伝えられるような事業にしていきたい。



取材した内容を元にWebにUP

事例紹介

地域人材育成事業
【サービス業分野】

未就職卒業者就業体験事業 (沖縄県)

事業概要

未就職のまま高校、大学等を卒業した者(未就職卒業者)を対象に、ビジネスマナー研修等のOff-JTと職場研修(OJT)を6ヶ月間実施し、企業で即戦力となる人材を育成する。

事業予算

11,250万円

事業期間

平成22年4月～平成23年3月

雇用者数

72人

地域雇用失業情勢

(事業開始時点の有効求人倍率)

沖縄県 0.31倍

(季節調整値)



委託先

- ・(有)オーシャン・トゥエンティワン、(株)琉球新報開発(コンソーシアム)
※雇用期間 第1期:5月10日～11月9日(16人) 2コース(観光、サービス分野)
第2期:6月 7日～12月3日(16人) 2コース(製造業、地域社会雇用分野)
- ・(株)プラスキャリア ※雇用期間6月1日～11月30日(24人)
4コース(観光1コース、専門・技術サービス2コース、地域社会雇用分野1コース)
- ・(株)りゅうせきビジネスサービス、(株)ニチイ学館(コンソーシアム)
※雇用期間6月1日～11月30日(16人) 医療1コース、サービス1コース

研修内容

- ・Off-JT…ビジネスマナー研修・PC技能研修を実施し、社会人基礎力を高める。資格取得やマーケティングを学んでスキルアップ。
- ・OJT…観光、医療、サービス、製造業、地域社会雇用分野の企業で職場実践研修。



5月10日スタート第1期生入講式の様子

(株)琉球新報開発でのOJT研修(5月10日スタート第1期生サービス分野) 9名

(株)琉球新報開発 広告Ⅱ部 事業担当(人材育成・イベント) 仲間さん
事業運営やイベントの企画・営業・運営のサポートをします

研修担当者からコメント

PCと運転は
バッチリだよ!



今、エコフェスタの電話対応や、名簿作成
を實踐中。訪問予約を経て、直接営業に
出向きます。訪問先の就職担当とのコミュ
ニケーションを図れるようがんばります!

3か月前まで高校生だったとは思えない程自発
的で頼もしいです。ビジネス文書の作成や「新
報料理講習会」のイベント運営にも参加しました。
電話対応にも少しずつ慣れてきてますよ。

← 研修生 仲間さん(なんと18歳!!)

(株)プラスキャリアでのOff-JT研修(6月1日スタート) 24名

■プログラムの考え方 働くことへの意識醸成と将来のキャリアプランを描き働くことに必要となる能力を育成

受講前

- ・働くことに対して危機感はあるが不安
- ・どのように動いていいのかわからない
- ・将来のキャリアプランが描けない
- ・時代に求められている社会人基礎力の認識を誤解している

受講後

- ・働くことの不安を理解し、前向きな危機感を持って行動を続けることを認識する
- ・自分の将来のキャリアプランを描ける
- ・社会人基礎力を習得している
(主体性・実効力/課題発見力・計画力/発信力・傾聴力/情報把握力など)



■研修風景

■受講生コメント

私はこの就職基礎力セミナーで、大切なものを学んでいます。様々な講師の人達が話をして下さって、自分の小ささに気付かされる毎日ですが、それが逆に私自信を見つめ直す機会をくれ、私に何が必要なのか常に考えるようになり、小さなものごとからも自ら学んでいこうという姿勢が生まれました。それは私だけではなく、セミナーに参加している全員が変わろうとしていて、一人だけではなく、全員で助け合って成長していこうという形が出来上がっています。このセミナーに参加できたことを本当に嬉しく感じていますし、このセミナーの最後には全員が就職が決まり、「このセミナーで良かった」と思える形に仕上げたいと思います。いえ、仕上げます。私自身も自分を見つめ直して、私のやりたいことを明確にし、最終的に「使える新入社員」として就職を決めたいと思います。このセミナーで様々な出会いに感謝しつつ、全員で良いセミナーを作っていきたいと思います。(22年3月大学卒業 男性)

私は就職支援セミナーを通してたくさんの講師の方々のお話を聞くことができ、今までとは違う視点で物事を考えることができるようになってきました。また、自分自身を見つめ直し新たな自分を発見することもできました。このセミナーでは就職の力だけでなく、これからの人生の中でのヒントをたくさん得られると思います。このセミナーを通し、多くのことを吸収し、24人で刺激あって成長していきたいです。(22年3月大学卒業 女性)